

平成22年12月21日

寒河江市立各小中学校長 殿

寒河江市立南部小学校
校長 菊地 宏哉

校内研修会のご案内

10月の自主公開研究会の際は、市内の先生方より多数ご参加いただき、貴重なご意見やご感想を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、いただいたご意見をもとに、さらに研究を推進するべく、全職員一丸となつてがんばっております。

さて、さらに研究を推進するために、『教えて考えさせる授業』の原点に返り、あらためて本校の研究を見つめ直し、その上で南部スタイルの確立を目指して、外部講師を招いての飛び込み授業と講演会による研修会を開催いたします。

せっかくの機会ですので、校務運営に差し障りのない範囲で貴校からも多数ご参加いただき、ともに研修を深めることができると考えご案内申し上げます。

記

1 日 時 平成23年 1月14日(金) 午後2時～午後5時
2 場 所 寒河江市立南部小学校

3 研修内容

学力の充実を目指して

『教えて考えさせる授業』 授業と講演

①2年算数科における「教えて考えさせる授業」の飛び込み授業

②講演『「教えて考えさせる授業」の原点について』

～教えることとは何か、考えさせることとは何か、
をもう一度見つめる～

4 講 師 籓 木 良 夫 先生 (授業インストラクター)

5 参加申込 形式は問いません。電子メールで学校ごとに報告下さい。
(人数だけでなく、氏名・交通手段を明記して下さい。)

6 申 込 先 寒河江市立南部小学校 教頭 小山 宛

7 申込締切 1月7日(金)まで

8 そ の 他 駐車場が狭いため、複数ご参加下さる場合は、相乗りでご参加くださいますようお願いいたします。

< 参考資料 >

1月14日(金)に校内研究会「講演会」 決定!!

『教えて考えさせる授業』の原点に戻る

授業インストラクター 鍋木良夫 先生

●「予習」を取り入れた「教えて考えさせる授業」

鍋木先生が取り組んでいるのは、「教えて考えさせる授業」に「予習」を取り入れた実践だ。子どもたちは、予習で授業内容に触れ、「生わかり」になった上で、授業で「本わかり」になる。学習機会が増えることで、理解がより定着しやすくなるというわけである。

鍋木先生が専門とする理科という教科は、「教えて考えさせる授業」や「予習」が最も反発をまねきやすい教科でもある。「予習で先に実験結果を知ってしまったら、授業の新鮮さが失われる」というのが伝統的な考え方。ところが、鍋木先生の授業では、子どもたちは予習で知っているからといって、決して授業に興味を失うことはない。それどころか、教科書に載っていなかった事実を次々と発見していく。できる子ができない子のサポートをする姿も、自然に見られる。



●教育の実践と研究を結ぶ

こうした鍋木先生の日々の実践を下支えしているのが、学習のメカニズムに対する深い理解だ。数年来、市川教授が主宰する月一回の研究会に通い続け、心理学の最先端の研究知見を吸収している。自らも「認知ゼミ」を主宰、認知心理学や教育心理学をベースに、熱心な教員メンバーらとともに授業の研究を続ける。そうした研究の成果は、教育関係の学会などでも発表されている。研究知見を実践で検証し、実践から新たな理論を創出することをめざしている。

【図書文化出版案内のWebページ】より

鍋木先生は草加市立八幡小学校の校長を最後に定年退職され、2年前から全国から要請を受けて講演をなされたり、飛び込み授業を実践されております。南部小学校でも鍋木先生が飛び込み授業を公開し、それを元に講演をお願いしております。